

# 平成 26 年度事業報告

## 1 会議の開催

次のとおり理事会、評議員会を開催した。

### (1) 理事会

- ・ 第6回理事会 平成26年6月6日（於：都市計画会館）  
議案 平成25年度事業報告（案）及び収支決算（案）  
公益目的支出計画実施報告書（案）について  
理事の推薦について  
基本財産を定める件について  
財産運用規程の制定について  
第3回定時評議員会の招集について  
報告事項 賛助会員の状況について
  
- ・ 第7回理事会 平成26年6月23日（書面決議）  
議案 代表理事及び業務執行理事の選定について
  
- ・ 第8回理事会 平成27年3月18日（於：都市計画会館）  
議案 平成27年度事業計画（案）及び収支予算（案）  
参与の委嘱（案）について

### (2) 評議員会

- ・ 第3回定時評議員会 平成26年6月23日（於：都市計画会館）  
議案 平成25年度事業報告（案）及び収支決算（案）  
公益目的支出計画実施報告書（案）について  
理事の選任について  
報告事項 平成26年度事業計画（案）及び収支予算（案）  
基本財産を定める件について  
財産運用規程の制定について  
賛助会員の状況について

## 2 まちづくり情報交流活動

### (1) まちづくり情報交流コーナーの運営

まちづくりの成功事例に関する情報を全国に提供するためホームページ上に開設した「まちづくり情報交流コーナー」において、全国各地の優れたまちづくり事例134件を紹介した。

- ・わが町のまちづくり編 15件
- ・都市再生整備計画事業編 56件
- ・土地活用編 63件

### (2) 「まち交ネット」の運営管理

「都市再生整備計画事業」に関する各種情報の提供と交流を図るため開設した「まち交ネット」に、全国の最新の都市再生整備計画等の情報を掲載した。

## 3 調査研究

### (1) 受託調査

国、地方公共団体等から、新しい時代に即したまちづくり調査等を12件受託し、実施した。

#### ①国等からの受託調査（5件）

- ・新たな都市基盤の整備・管理手法及び海外への情報発信方策に係る検討調査（国土交通省）
- ・今日の課題に対応した既成市街地の再整備のための市街地再開発事業制度のあり方検討業務（国土交通省）
- ・地下街の防災対策推進に関する検討調査業務（国土交通省）
- ・平成25年度補正予算G空間シティ構築事業（総務省）
- ・都市機能誘導の実現手法に関する基礎的研究（独立行政法人都市再生機構）

#### ②地方公共団体からの受託調査（4件）

- ・高崎市立地適正化計画（素案）作成業務（高崎市）
- ・スマートコミュニティ関連事業推進業務（さいたま市）
- ・千代田区浸水想定区域内の地下街等に関する水害対策支援等業務（千代田区）
- ・中南部都市圏駐留軍用地跡地周辺整備計等調査委託（沖縄県）

#### ③民間等からの受託調査（3件）

- ・平成26年度民間都市開発支援ニーズの把握に関する調査

- ・ 千葉駅東口地区第一種市街地再開発事業特定業務代行者選定業務（千葉駅東口地区第一種市街地再開発事業準備組合）
- ・ 日本橋室町三丁目地区第一種市街地再開発特定業務代行者選定業務（その2）（日本橋室町三丁目地区市街地再開発準備組合）

## （2） 自主研究

- ① 平成26年8月都市再生特別措置法が改正施行され、「立地適正化計画」の作成が位置付けられるとともに、都市再生整備計画事業の拡充等がなされたことを踏まえ、「多極ネットワーク型コンパクトシティ」の実現に向け、全国の事例調査やまちづくり専門家による意見交換等を通じて、計画策定、事業実施に向けた実務的なノウハウの蓄積を図るべく、検討を開始した。  
また、都市再生整備計画を活用したまちづくりを目的に事業を推進しているまちづくり情報交流協議会と連携して、協議会員の要望が高い「集約型都市構造の構築に向けた取組み等に関する調査」を実施した。
- ② 最近注目されるようになった官民連携のまちづくりや持続可能なまちづくりを実現するエリア・マネジメントについて、全国の事例を収集するとともにそのあり方について検討した。
- ③ 都市の防災・減災のあり方に関して、特に低炭素まちづくりの実現と連携した高度防災のあり方についての基礎的な研究を行った。
- ④ 全国のまちづくり事例の情報を継続して収集、整理し、当機構のホームページ「まちづくり情報交流コーナー」に登録、情報発信した。
- ⑤ まちづくりに関する有識者の人材データを継続して収集整理した。

## 4 表彰事業等まちづくりに関する普及啓発活動

### （1） 土地活用モデル大賞

主 催：（一財）都市みらい推進機構

後 援：国土交通省

表彰式：平成26年10月29日（水）

会 場：アルカディア市ヶ谷

□国土交通大臣賞（1点）

- ・ 区画整理との一体的施行による大津駅西地区第一種市街地再開発事業  
【所在地：滋賀県大津市】

□都市みらい推進機構理事長賞（1点）

- ・ 練馬駅北口区有地活用事業  
【所在地：東京都練馬区】

□審査委員長賞（2点）

- ・水の町屋七日町御殿堰

【所在地：山形県山形市】

- ・地域に開かれた住商一体のサステイナブルコミュニティ  
ー光が丘エコタウンー

【所在地：神奈川県相模原市】

(2) まち交大賞

① 第9回まち交大賞国土交通大臣賞の表彰

平成26年6月16日、すまい・るホールにおいて、第9回まち交大賞国土交通大臣賞の表彰を行った。

また、同年7月15日、まちづくり情報交流協議会の全国大会において、まち交大賞の表彰を行った。

主 催：（一財）都市みらい推進機構、まちづくり情報交流協議会

後 援： 国土交通省

【完了地区】

- まち交大賞（国土交通大臣賞）

留辺薬町温根湯温泉地区（北海道北見市）

- まちづくり達成大賞（まちづくり情報交流協議会会長賞）

和倉温泉地区（島根県松江市）

- まちづくり効果賞

柿田川周辺東南部地区（静岡県清水町）

武生中心市街地地区（福井県越前市）

緑ヶ浜周辺地区（福岡県新宮町）

【計画地区】

- 創意工夫大賞（都市みらい推進機構理事長賞）

和合地区（山形県朝日町）

- まちづくりシナリオ賞

下川市街地区（北海道下川町）

とおかまち地区＜第2期＞（新潟県十日町市）

棚尾地区（愛知県碧南市）

② 第10回まち交大賞の選出

平成27年1月、各地方整備局、都道府県等の協力を得て、市区町村に対し募集を行い、応募のあった22地区（計画地区7地区、完了地区15地区）から、審査委員会の審査により、次の地区が選出された。

【完了地区】

- まち交大賞（国土交通大臣賞）  
足助香嵐溪地区（愛知県豊田市）
- まちづくり達成大賞（まちづくり情報交流協議会会長賞）  
紫波中央駅前地区（岩手県紫波町）
- まちづくり効果賞  
健康づくり拠点地区（静岡県長泉町）  
岸和田城周辺地区（大阪府岸和田市）

**【計画地区】**

- 創意工夫大賞（（一財）都市みらい推進機構理事長賞）  
小諸宿周辺地区（長野県小諸市）
- まちづくりシナリオ賞  
美瑛中心市街地区（北海道美瑛町）  
竹田地区（大分県竹田市）

※ 表彰式は、まち交大賞（国土交通大臣賞）については、まちづくり月間「まちづくりと景観を考える全国大会」（平成27年6月12日）において、その他の賞は、まちづくり情報交流協議会全国大会（平成27年7月開催）において行われる予定。

## 5 講演会・意見交換会・プロジェクト説明会等の開催

### （1）土地月間記念講演会

開催日：平成26年10月29日（水）

主催：（一財）都市みらい推進機構、（一財）土地総合研究所  
（一財）土地情報センター、（一財）不動産適正取引推進機構  
（公財）不動産流通近代化センター

後援：国土交通省、（財）民間都市開発推進機構、（一財）日本不動産研究所、（株）日本政策投資銀行

会場：アルカディア市ヶ谷

演題及び講師：

- ・「土地活用と不動産市場について」

国土交通省土地・建設産業局不動産市場整備課長 小林 靖 氏

- ・平成26年度土地活用モデル大賞各賞の概要説明 各受賞者 代表

- ・記念講演「都市機能の集約立地と都市再開発」

一般社団法人 再開発コーディネーター協会顧問

株式会社アール・アイ・エー代表取締役社長 宮原 義昭 氏

(2) 都市みらい・地下研・UIT合同講演会

①第21回合同講演会

開催日：平成26年 4月22日（火）

会 場：(財)都市計画協会

演 題：「都市の再生に向けた都市政策の展開について」

講 師：国土交通省都市局まちづくり推進課官民連携推進室長

中村 純 氏

②第22回合同講演会

開催日：平成26年 9月12日（金）

会 場：(財)都市計画協会

演 題：「平成27年度国交省重点施策と予算概算要求」

講 師：国土交通省総合政策局政策課企画専門官 山川 修 氏

③第23回合同講演会

開催日：平成27年1月27日（火）

会 場：(財)都市計画協会

演 題：「G空間情報を活用した高精度測位社会の実現について」

～東京駅周辺高精度測位社会プロジェクト～

講 師：国土交通省国土政策局国土情報課長

西澤 明 氏

(3) 都市みらい・UIT合同プロジェクト説明会

①「殿町国際戦略拠点キングスカイフロント」説明会

開催日：平成26年7月16日（木）

場 所：川崎生命科学・環境研究センター（L i S E ライズ）

②「虎の門ヒルズ」説明会

開催日：平成26年9月5日（金）

場 所：虎の門ヒルズ

(4) 都市みらい調査・研究報告会及び意見交換会

開催日：平成26年11月25日（火）

会 場：市ヶ谷カンファレンスセンター

○調査・研究報告会

- ・平成25年度調査の全体概要
- ・大都市の国際競争力強化に向けた広報戦略に関する調査  
- MIPIM2014 への東京パビリオン出展 -
- ・低炭素社会の実現、環境に配慮したまちづくりに関する調査
- ・第9回まち交大賞受賞地区紹介

・平成26年度土地活用モデル大賞受賞プロジェクト紹介

○講演会

演題：「まちづくりの最近の話題について」

- ① 改正都市再生特別措置法
- ② 官民連携によるまちづくりの推進

講師：国土交通省都市局まちづくり推進課

官民連携推進室長 中村 純 氏

○意見交換会

賛助会員と国土交通省都市局及び土地・建設産業局の幹部との意見交換を実施した。

(5) 立地適正化計画実務講習会の開催

開催日：平成26年12月16日（火）

会場：市ヶ谷カンファレンスセンター

○講習会

事例研究（立地適正化計画検討中の事例を通じた課題等について）

質疑、意見交換（参加者から、あらかじめ立地適正化計画及びその実現手法としての都市再生整備計画事業等についての課題や質問等を提出していただき、講師を交えて意見交換等を実施。）

講師：国土交通省都市局都市計画課施設計画調整官 菊池 雅彦氏 他

(6) 都市みらい通信（IFUD LETTER）の発行

都市みらい通信を原則毎月発行し、機構の活動状況やまちづくり関連ニュース等を提供した。同時にホームページにも掲載した。

## 6 まちづくり関連諸団体の支援

事務局として次のような活動の支援を行った。

(1) まちづくり情報交流協議会

①全国大会

開催日：平成26年7月15日（金）13：30～

場所：日本消防会館会議室（千代田区）

- 1) 定期総会(第10回)
- 2) 第9回まち交大賞表彰式
- 3) 講習会

・都市再生特別措置法と都市機能立地支援事業等の活用について

国土交通省都市局都市計画課係長 徳田 隆宏 氏

- 〃 〃 市街地整備課係長 熊木 雄一 氏
- ・商店街等の戦略的ストリークの形成のための「賑わいづくり施策発見マニュアル」について  
国土交通省国土技術政策総合研究所都市施設研究室  
主任研究官 吉田 純土 氏
  - ・留辺蘂町温根湯温泉地区の事業概要について  
北見市教育委員会留辺蘂教育事務所長 若杉 鉄夫 氏

## ②全国研修会

開催日：平成26年11月6日（木）13：30～

場 所：シティホールプラザ アオーレ長岡（新潟県長岡市）

### 1) まちづくり講演会

- ・「地域の個性を活かした中心市街地活性化のまちづくりについて」

長岡技術科学大学副学長 中出 文平 氏

### 2) 都市再生整備計画事業講習会

- ・「市街地整備事業に関する最近の動き」

国土交通省都市局市街地整備課長 武政 功 氏

- ・「北陸における地域特性を活かした特色あるまちづくりについて」

国土交通省北陸地方整備局建政部都市・住宅整備課長

橋口 真衣 氏

- ・「長岡市中心市街地地区のまちづくりについて」

長岡市中心市街地整備室まちなか整備担当課長 菰沢 由明 氏

- ・「URの都市再構築支援について」

独立行政法人都市再生機構都市再生部全国まちづくり支援室

地方都市戦略チーム主査

石黒 慶 氏

- ・「民間都市開発事業への支援業務について」

一般財団法人民間都市開発推進機構業務第二部業務第三課長

中田 伸一 氏

### 3) まちづくり現地視察研修

開催日時：平成26年11月7日（金）9：30～

視察地区：新潟県長岡市中心市街地

## ③立地適正化計画実務勉強会の実施

開催日時：平成27年3月12日（木）13：30～17：00



会 場：全国町村会館

○勉強会

事例研究（先進事例の取組と成果、立地適正化計画策定に向けた課題等について）

質疑、意見交換（参加者から、あらかじめ立地適正化計画及びその実現手法としての都市再生整備計画事業等についての課題や質問等を提出していただき、講師を交えて意見交換等を実施。）

講師：国土交通省都市局都市計画課施設計画調整官 菊池 雅彦氏

富山市都市整備部都市政策課 松下 博憲 氏

④ 共同研究の実施

（一財）都市みらい推進機構と連携して協議会員の要望が高い「集約型都市構造の構築に向けた取組み等に関する調査」を実施した。

（2） 都市地下空間活用研究会

① 総会・評議員会等の開催

平成26年6月4日（水）に総会及び評議員会をそれぞれ開催した。

② 調査研究活動

1) 大阪分科会

前年度に引き続き、大阪駅周辺の地下空間を大規模災害時の帰宅困難者の一時滞在場所として活用する方策の検討を進めた。今年度は、民間事業者、行政、協議会の動向、先進事例等のヒヤリングを実施した。

2) 地下利活用制度検討分科会

前年度に続き、地下鉄道駅を中心にした都市環境整備に関する調査研究を行った。今年度は3路線の地下駅について地下駅の構造、出入口の状況等についてデータを纏めた。

3) 八重洲・京橋・日本橋地区分科会

24年度に行った本地区への中央清掃工場の排熱を活用した幹線エネルギーネットワークの検討を踏まえ、今年度は本地区内のエネルギーネットワークの検討を行った。

4) 地下防災対策に関する勉強会

ゲリラ豪雨時の地下街・地下通路部の浸水対策、震災時における地下空間の防災の在り方についてのこれまでの研究実績をもとに、国土交通省をはじめ多数の機関に情報提供を行った。また、国土交通省や総務省が行ったG空間情報のICTによる利活用を促進する事業に協力した。

③ 講演会等の開催

講演会を3回、懇話会を2回、施設見学会2回等を実施した。

(3) アーバンインフラ・テクノロジー推進会議

① 総会・評議員会等の開催

平成26年6月4日(水)に総会及び評議員会をそれぞれ開催した。

② 技術研究発表会の開催

平成26年11月6日(木)に丸ビルコンファレンススクエアで第26回技術研究発表会を開催した。国、地方公共団体、民間企業等から24編の論文および4編のプロジェクト・技術報告が発表され、参加者数は148人であった。

③ 交流展示会の開催

平成26年11月4日(火)から7日(金)まで、丸ビルコンファレンススクエアにおいて第21回交流展示会を開催した。国、地方公共団体、民間企業等20団体が展示を行った。

④ 調査研究活動

「官民連携による都市と都市インフラの再構築研究会」で講演会等を行った。

⑤ 講演会等の開催

講演会を6回、意見交換会を2回、施設見学会を3回開催した。

## 別紙 平成 26 年度事業報告に係る附属明細書について

「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書を作成しない。